

まつど未来シナリオづくり 第1回会議の記録

松戸市総合政策部政策推進課
委託先：株式会社スタイリッシュ・アイデア



1班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ とにかく発言してみる。書いてみる。
- ▶ 相手の話を否定しない。

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 『防災4.0』に向けた取り組みについて
- ▶ NPO、協働、広域連携について
- ▶ 空き家対策
- ▶ 松戸産ブランド農産物PRと消費拡大、農家減少対策
- ▶ フューチャーセンターの活用について
- ▶ 松戸市内の地域間の連携について
- ▶ 東京（上野、品川）までの移動時間短縮（上野東京ライン）
- ▶ 里山の活用について
- ▶ コンテンツ産業の推進について
- ▶ テレワークの推進について
- ▶ プラネタリウムの活用について
- ▶ スマートシティ構想について（society5.0）
- ▶ 町会役員の高齢化
- ▶ 中間支援者の価値向上について（コーディネーター）
- ▶ アートを活用した取り組みについて
- ▶ 博物館のPRをもっとすべき

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 消防団団員の不足
- ▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピックの推進
- ▶ 人口減少を前提とした施策について
- ▶ eスポーツの取り組みについて
- ▶ 歳入も結構あるが、歳出も過去最大級が続いている
- ▶ 市民活動、町会自治会活動の支援
- ▶ 子どもの未来応援
- ▶ 待機児童4年連続国基準ゼロ。若い世代を呼ぶ
- ▶ スクールソーシャルワーカーの配置等福祉との連携
- ▶ 子どもの居場所に対する取り組み
- ▶ 幼稚園の預かり保育制度はこのままで良いのか？
- ▶ 保育士確保のための手当
- ▶ 駅前・駅ナカに小規模保育施設
- ▶ 少子高齢化
- ▶ 出生数、転入超過数が3.11の直後よりは持ち直している

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 流山市、柏市への人口流出について
- ▶ 介護施設増床、増加
- ▶ 地域包括支援センターの体制強化について
- ▶ 福祉まるごと相談窓口
- ▶ はじめての介護講座（家族への支援）
- ▶ 介護人材の育成
- ▶ 大型ショッピングモール建設
- ▶ 外国人住民登録者数増加（700～1500人/年）
- ▶ 多文化共生、外国人向けのガイド作成
- ▶ 幼稚園、学校で増えている外国人の親子と教師のコミュニケーション
- ▶ 公共施設の再編整備
- ▶ 新庁舎建て替え
- ▶ 市立総合医療センター開院

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 自然資源が減る • EV車・PHV車（2030年） • キャッシュレス化（現金取扱が減少） • 単純労働の自動化 • 共働き家庭の増加 • 不登校、引きこもり増加 • エネルギー（自然エネルギー）太陽光発電の上昇 • 自給率定価 • IT人材が不足 • 税収の減少 • 5Gの導入 • 働き方が多様化 • 教員不足（特に管理職） • 部活動の衰退 | <ul style="list-style-type: none"> • 技術革新（IoT普及） • 激震災害の発生 • 気温上昇 • 子どもの貧困率が高くなる • 森林を活用したバイオマス燃料の開発 • ベーシックインカムを導入 • 政権交代 • 公立学校の教科書のデジタル化 • 水素社会（燃料電池車など） • キャッシュレス化 • クラウドソーシングの普及 • 仕事の需給バランス悪化 • 公共サービスの充実 • 自治会の加入率低下 • 外国人労働者の増加・減少 • 自国の資源を守る（関税あげる） |

ワークシート③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> • 空き家の増加 • 社会インフラの老朽化 • 高齢者人口が増える • SDGs • AIの普及（IOT） • 働き手の減少 | |

2班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ 本音で話す。
- ▶ 意見を尊重する。
- ▶ 思った事はなるべく書いて全員が見えるようにする。

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 松戸駅周辺へのにぎわい創出
- ▶ 新拠点ゾーンの整備
- ▶ 大型商業施設オープン
- ▶ 空き店舗・テナント活用支援
- ▶ 小学生向けプログラム教室
- ▶ ゆめいろバス
- ▶ 客引き対策強化
- ▶ 教育環境におけるSociety5.0の取り組み
- ▶ 教育環境の整備
- ▶ 公共施設再編
- ▶ 旧松戸宿エリアの活性化
- ▶ PARADISE AIR
- ▶ 全国ねぎサミット
- ▶ こども食堂への松戸市からの後押し
- ▶ 小中一貫教育の推進
- ▶ 福祉まるごと相談窓口

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 子育て満足度
- ▶ 30～34歳の転入超過
- ▶ 柏市、流山市に転出超過、市川市から転入超過。千葉県内では転出超過、東京等県外では転入超過。
- ▶ 出生、死亡の自然増は減少し続けている。社会増によって増加は続いているが、どこかで減少
- ▶ ベトナム人および中国人が増えている
- ▶ 松戸駅前（西口、東口）の治安・環境の改善（呼び込み、看板等）
- ▶ 人権課題に関する意識啓発

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口の減少 老人ホーム増加 独り暮らし世帯増加 出生数減少 心の健康寿命が下がる 体の健康寿命が高くなる 新エネルギーの開発 IoTの技術進歩 水素社会 東京一極化 キャッシュレスな買い物 AIが進む 子どもが遊べる場所が減る 女性の社会進出が進む 定年引き上げ | <ul style="list-style-type: none"> 外国人が増える（労働者） 高齢者雇用が増える 外国人への介護 技術の進展により人間が頭を使わなくなる コンパクトシティ化 シェアリングエコノミー普及 住に関する教育構成の変化 外国人の権利・義務の変化 LGBTQが広がる 高校（大学？）無償化 大学入試方法の変化 オンライン化（会議、講座、セミナー） 大規模災害 海洋プラスチック 消費税増税 |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 国民年金制度が不安定に 仕事が減る 職域減少 高齢者の自動車事故 VR（疑似体験） リサイクル推進 地球温暖化、気候変動 | <ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの普及 society5.0の普及具合 食糧自給率が増える 自治体の変化 米軍がいなくなる 省エネと住宅 |

3班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ 良く話し
- ▶ 良く聞き
- ▶ 助け合う！

ワーク②：松戸市の現状を知る

～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 外国人住民登録者数が増加している
- ▶ 人口1,800人／年 増の内、約700人は外国人住民
- ▶ 人口が増加している
- ▶ 出生数より死亡数が多い
- ▶ 年少人口比率が減少している
- ▶ 老年人口比率が増加している
- ▶ 空き店舗活用の実態は？
- ▶ 公共施設の再編
- ▶ 本庁舎の建替えってどうなるんだろう
- ▶ 外国人材の雇用促進の取組み
- ▶ 外国の方のSNSを通じた発信力をつかう
- ▶ 外国人と交流している割合が低い、もっと交流機会を作る
- ▶ 自転車走行空間ネットワークとは？
- ▶ 民生費が年々増加している
- ▶ 介護や健康に対する取組み
- ▶ オリンピック・パラリンピックにおける松戸ゆかりの選手

ワーク②：松戸市の現状を知る

～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 中高生の居場所の設置
- ▶ プログラミング教室
- ▶ 子ども学習支援の拡充
- ▶ 待機児童ゼロ、放課後児童クラブの充実のメリット、デメリット
- ▶ 松戸は子育てしやすい？
- ▶ スクールソーシャルワーカーの配置

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 外国人が確実に増える 外国人労働者の増加 英語教育の必要性の増加 少子高齢化の拡大 高齢者の採用増加 ICTの進化 AI、ロボット活用される 5Gなどの新通信規格 生活にAI参入 スーパーなどの無人化が増える キャッシュレス決済が増える | <ul style="list-style-type: none"> 教育無償化が広がる 消費税が上がる 人材不足が進む 小売業が衰退する 公共サービス（インフラ）の維持が困難になる 食糧の輸入 テロ国際紛争 子どもの遊び場減少 ゴミの減少 |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> 独り暮らし世帯が増加する 過疎地の深刻化 中国等の台頭 女性の社会進出が進む 多様な働き方が普及する 気候変動 環境問題 公共施設が老朽化する 社会保障が増加する クリーンエネルギーの増加 教育の公立と私立の差が拡大 ビックデータの活用 観光による経済効果自然資源の減少 | |

4班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ まちがってもOK
- ▶ つまらないこと言ってもOK
- ▶ どんなこと言ってもOK
- ▶ しゃべろうね、みんな！

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 異文化共生・多文化共生
- ▶ 外国人住民16303人 外国人が増えているけど共生はうまくいく？
- ▶ 子ども・子育てに対する施策（松戸に編入してきた市民は満足しているのか？）
- ▶ 多様な働き方に対する支援
- ▶ 老人・子供に福祉手厚いけれど、中高年はどうなのか？
- ▶ 松戸健康マイレージ
- ▶ 子どもの未来応援プラン
- ▶ 松戸駅はベビーカーユーザーには不便
- ▶ 松戸駅・新拠点ゾーン
- ▶ ひきこもり多い
- ▶ 公共施設の老朽化・整備（学校・道路・橋・水道・街路樹）
- ▶ 市内公共交通整備・コミュニティバス（ゆめいろバス）
- ▶ 空き家活用
- ▶ 空き店舗テナント活用支援
- ▶ スタートアップオフィス開設
- ▶ 商業の活性化（利活用の情報）

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 大規模商業施設のオープン
- ▶ 企業誘致
- ▶ 女性就業率69.4%
- ▶ Society5.0って何？
- ▶ オリンピック 松戸ゆかりの選手って誰？
- ▶ 聖火リレー
- ▶ 学習活動している市民36.5%
- ▶ 生きがい感を持っている人の割合が5%くらいダウン
- ▶ 『人口の将来展望』は、2060年まで人口50万人程度を維持
- ▶ これだけの施策をどれだけの市民が知ってる？

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の増加 ロボット産業拡大 電子マネーの普及 人口減少 出生数低下 健康寿命（身体面）伸びる 少子高齢化進む 団塊世代の大量退職 高齢者就労 東京への人口一極集中 中小企業減少 農業人口減少 不動産価値の下落 在宅勤務（リモート・雇用スタイルの多様化） モノ・コトシェアリング | <ul style="list-style-type: none"> 多言語化 グローバル化のさらなる増加 AIの進展・普及 ロボットの普及（人が要らなくなる） AR/VRの普及 パーソナルデータ 健康・医療関連ビッグデータ 行政サービス電子化 超少子化 外国人増 年金制度の維持困難 死に方の多様化（尊厳死など） 健康寿命の心の面は不確実 医療雇用者増加 介護の受け手の増加 介護サービスの利用格差 |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 温暖化 環境汚染 自治体の税収減・財政悪化 インフラ老朽化 年金・健康保険など社会保険全般 教育多様化（遠隔・家でも可能） リベラルアーツ | <ul style="list-style-type: none"> 寒暖差増加 省エネ対策 大災害 治安 食料問題 食料自給率目標 39%(2014)→45%(2025) 農業 従来型→Co型（都市近郊） 職業機能縮小・変化 ベーシックインカム 非正規雇用者（多様な働き方が当たり前になる） 産業構成（働き方含め）の変化 参画意識の低下 |

5班

ワーク①：グラウンドルール

「とにかく話して聞いてみる」

- ・全員がバランス良く発言する
- ・本音で話す
- ・とにかく話す
- ・人の話を否定しない
- ・わからないことは聞く。わかる人が教える。

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 2030年松戸市の人口は、49万～45万人の見込み
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ 外国人定住人口の増加
- ▶ 外国人住民登録者
- ▶ 多様な人権課題に関する意識啓発
- ▶ お年寄りの働く機会
- ▶ 福祉まるごと相談窓口の設置
- ▶ 保育の量と質の充実に取り組むことでの出生率の減少の対応
- ▶ ボランティア人材の育成
- ▶ 財政状況の悪化
- ▶ クリーンセンターの建替
- ▶ 市役所本庁の建替（公共施設再編）
- ▶ 新拠点ゾーン（松戸駅周辺まちづくり基本構想）
- ▶ 松戸スタートアップオフィスの開設
- ▶ 空き店舗、空きテナント活用支援
- ▶ 空家など適正管理と活用
- ▶ 自転車駐輪場無料制度化

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 外環道と成田空港を結ぶ北千葉道路の早期事業化（交通ネットワーク）
- ▶ 都市型農業の振興
- ▶ 防犯、防災、安全な社会づくり
- ▶ 放課後のKIDSルーム
- ▶ 中高生の居場所
- ▶ 子ども館増設
- ▶ 博物館
- ▶ モリヒロフェスタ

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> IoTの普及 AIの進化 単身世帯の高齢者増加 高齢化率30%超え 高齢者雇用の増加 介護人材の不足 災害の増加 魚の価格高騰（食卓に上がらない） 農業人口減少 東京一極化 相対的なGDP低下 新エネルギー開発 人工知能、ロボットによる労働力減および採用減 少子化 福祉財源の多様化（負担増） 年金支給額減少 社会保障財政圧迫、増加 キャッシュレス化 | <ul style="list-style-type: none"> 財政の地方への移譲 増税 シェアエコノミー AIによる判断決定 バーチャル空間（体験） （全年齢）教育無償化 教育のAI化 ますますの学歴社会 システムの共有化 治安 外国人材の流入 雇用の流動化 宇宙旅行 温暖化の異常気象 海洋ゴミが増える（プラスチック等） 大規模地震、災害の発生 安全な水を買う 自動運転 宅配の自動運転の普及 |

© Stylish Idea, Inc.

31

6班

© Stylish Idea, Inc.

32

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ 楽しく褒め合いながら、端的に話しつつ、全員が同じ意見の場合でも発言し、お互いにサポートする

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 人口増加の割合について（老年人口比率の増加、外国人の増加）
- ▶ 生産年齢人口比率の減少
- ▶ 将来人口の展望
- ▶ 人口の維持
- ▶ 高齢者へのサポート
- ▶ 全国ねぎサミット
- ▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック
- ▶ オリンピック聖火リレーが松戸に来る！
- ▶ 安全なまちづくり
- ▶ 客引き対策の強化
- ▶ 新庁舎整備
- ▶ 公共施設再編、整備基本計画
- ▶ リサイクルプラザの建設準備
- ▶ 燃やせるごみの処理
- ▶ 一宿一芸のPARADISE AIR
- ▶ アーティスト滞在制作拠点の充実
- ▶ 市民活動、町会自治会活動の支援

ワーク②：松戸市の現状を知る

～松戸市の現状について気になること～

- ▶ まつど健康マイレージ
- ▶ 放課後児童クラブの設置
- ▶ 駅ナカ保育施設
- ▶ 待機児童ゼロ
- ▶ 子育て世帯向け居住支援
- ▶ 保育所の充実
- ▶ 市立総合医療センターの開院
- ▶ 外国人向けガイドマップ
- ▶ 多文化共生
- ▶ 外国人受け入れ整備
- ▶ 新拠点ゾーンの整備
- ▶ 観光資源の活用
- ▶ 松戸駅周辺まちづくり基本構想
- ▶ キテミテ松戸の充実
- ▶ テラスモール松戸のオープン
- ▶ 自動車の図柄入り松戸ナンバー交付
- ▶ 自転車と歩行者のまちづくり

ワーク②：松戸市の現状を知る

～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 松戸インター
- ▶ 新駅整備
- ▶ 大雨による災害対策、市民ハザードマップの周知
- ▶ 河川、下水道災害等の対策
- ▶ 緑地の保存、創出

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の増加 出生率の低下 少子高齢化 単身世帯の増加 女性の就業割合の増加 税収が減る 災害が起こる 地球温暖化 自動運転技術の発達 AI技術の発展 AIの進化、使用 IoT技術 教育内容の変化 キャッシュレス経済進む ビットコイン | <ul style="list-style-type: none"> 外国人移民の増加 外国人観光客の増加 教育の多様化 自治体の在り方 公共施設再編 気候変動 LGBTQが広がる 働き方改革 テレワークの発展 不景気 地方人口の減少 学校の減少 治安の悪化 テロ 日韓関係の悪化 国際紛争 消費税増税 シェアリングエコノミー 宇宙が身近に |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> エネルギー資源、利用可能な水資源の不足 関東大震災 食料危機 農業（食料自給率）の重要性 完全キャッシュレス化 |

7班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ 人の意見は受け入れ、ホンネで話し、話しは最後まで聴く

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 松戸市人口ビジョン
- ▶ 担い手世代の転入超過・生産年齢人口割合の減少・老年人口の増加
- ▶ シティプロモーションの推進
- ▶ 子どもの未来応援
- ▶ 出生率の低下
- ▶ 老年人口増加
- ▶ 人口どのくらい減るのか
- ▶ 住み続けたいと思う人の割合が増えている
- ▶ 財政を維持できるのか
- ▶ 親子で過ごせる場所
- ▶ 子育ての満足度91.9%(H28)
- ▶ 子育てママの孤立
- ▶ 放課後児童クラブ等居場所づくり
- ▶ 保育の量と質の充実
- ▶ まつど手当
- ▶ 待機児童
- ▶ 外国人住民の増加

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 多文化共生
- ▶ テラスモール松戸
- ▶ オリンピック後に残るもの
- ▶ 企業誘致
- ▶ 交通ネットワーク
- ▶ 商業の活性化
- ▶ 本庁舎の建て替え
- ▶ 新拠点ゾーン
- ▶ 浸水対策

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> AIの進化 自動運転の技術進歩 定年延長 年金支給年齢の引き上げ 少子高齢化 単身世帯の増加 外国人労働者の増加 女性の社会進出 出生率下がる 生産年齢人口の減少 教育のグローバル化 学校の授業の変化（体験能動型） 部活動の衰退 東京への人口集中（地価高騰） 住まい方の変化（居住地） 老人ホーム増加 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人（移民）の増加 景気良くなる 消費税上がる オンライン授業の高校 不登校在宅者の増加 教科書デジタル 食糧自給率が下がる 食糧問題 町医者者の増加 STAP細胞 シェアエコノミー 大地震 大災害 キャッシュレス化 働き方（所得削減 業務内容） AI技術発展による失業者の増加 RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）技術の普及 |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 異常気象 フリーエネルギー 環境変化（温暖化） | <ul style="list-style-type: none"> テレワーク 新エネルギーの普及 水素燃料 健康寿命 公共サービス継続が難しい 政治関心低下 脱プラスチック 海洋ゴミプラスチック 宇宙が身近に テロ 日韓関係 |

8班

ワーク①：グラウンドルール

- ▶ メンバー全員の意見を聞くために時間を守る

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ コンテンツ産業を応援する自治体
- ▶ コンテンツ産業が出ていってしまった松戸市
- ▶ 将来人口が2060年でも現状維持
- ▶ シティプロモーションの推進 PRの仕方
- ▶ 放課後KIDSルーム
- ▶ 中高生のための居場所
- ▶ 英語あそびの実施より科学教育・3R'sの推進
- ▶ 保育の量と質の充実
- ▶ 図書館リニューアル
- ▶ 公園に乳幼児向け道具
- ▶ まつど手当、パートにも手当を
- ▶ 待機児童4年連続ゼロ
- ▶ 健康医療都市まつど
- ▶ 多文化共生
- ▶ 外国人人材の活用とそのために日本の文化・言語・教育の紹介
- ▶ 外国人市民の増加と、それに伴う教育や就労等で日本人同様の暮らしを考えることの必要性

ワーク②：松戸市の現状を知る ～松戸市の現状について気になること～

- ▶ 外国人の人口増
- ▶ 外国人住民登録増加
- ▶ 市民と外国人との共生
- ▶ 本庁舎の建て替え
- ▶ 本庁の建て替えにともなう移転の計画
- ▶ コミュニティバスの運行

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 公園が減る 少子高齢化 人口減少 高齢者の雇用が促進 幼児教育無償化（2019.10～） 社会保障費の増 年金受給の年齢が上がる 定年年齢の上昇 不登校によりひきこもり増える 新エネルギー開発 東京一極化 福祉財源の多様化 クラウドファンディング | <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革 非正規雇用者の割合の増 自動運転技術の向上 自動運転技術の実用化、普及 ユーチューバーが増える 消費税が上がる 人材不足 コンテンツ産業の世界における優位性 国家通貨の信用度 水素社会 システム共有化 水の安全性 増税 雇用の流動化 バスの廃線 |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 異常気象 温暖化が進む（気温がさらに上昇する） 気候変動 プラスチックごみ規制 キャッシュレス決済の割合増加 空き家増 農地減 農業人の減少 最低賃金 AIの普及 インターネット5G高速化 | <ul style="list-style-type: none"> 治安 学歴社会の進展 AI 介護 政治 電子化 心の健康寿命 食料自給(39→45%) |

ワーク③： 2030年の日本における私たちの暮らしに影響を与える要因

| 不確実性が低い（ほぼ確実） | 不確実性が高い |
|---|---------|
| <ul style="list-style-type: none">外国人労働者の受け入れ外国人労働者とその家族が増加日本における外国人比率の増加外国人観光客が増加 | |